

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	公的資金の導入については、「整備しても利用されない光の道」とならないように、利活用の促進策と並行して進めていただきたいと考えます。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	超高速ブロードバンドの利用率が向上しないのは、料金だけが理由ではなく、大多数の「パソコンの素人」でも簡単に使えるサービスがないことが原因でないかと考えます。例えばiPadやさらに使いやすい端末が出てくることを期待しています。その意味で、NTTの組織形態を膨大な時間と稼働をかけて見直して、かつての電電公社のような組織を作り上げることが有効な対策だとは思えません。何より公社組織にしてしまうことで、サービスの質が低下することが懸念されます。